



# のっぽの手

- ◆ ふくしま元気市民活動助成金
- ◆ 地域活動団体等の活動基盤支援事業
- ◆ ふくサポ講座

2011年10月発行

## 今年もやります「元気助成金」

常務理事 牧田 実

ふくしま元気市民活動助成金事業は、中間支援NPOであり、県下唯一の認定NPO法人である当センターの自主事業として2009年に立ち上げ、今年で3年目を迎えます。これは、地域に暮らす人たちが、地域の抱える問題を自分たちの力で解決しようと取り組んでいる活動を市民が選び助成金を支給する「市民が選ぶ、市民による、市民のための活動助成事業」です。昨年からは、福島中央ロータリークラブさんの「未来づくり市民活動助成金」との連携が実現し、環境の保全と子どもの健全育成を図る活動については「未来づくり助成金」、それ以外の活動全般については「元気助成金」がカバーするという分担の仕組みが整いました。いずれも活動団体の自己資金を必要としない「使い勝手のいい助成金」ですので、どしどし活用していただけたらと思います。今年も、震災の余波もあり、やや規模を縮小し、10万円を上限とする3事業(昨年までは5事業)を助成対象とし(「未来づくり助成金」は2事業です)、公開プレゼンテーションと市

民投票も差し控えることにしましたが、審査の過程に応募団体との直接のやりとりを組み込むなど、「市民主体」という基本的なコンセプトを維持する工夫をしています。

当センターの目玉ともいえるこの事業、ほんとうはもっとたくさんの団体に助成金を提供したいのですが…。残念ながら、無い袖は振れません。もっと多くの方々から寄付をいただけたら、というのが偽らざる本音です。もちろん私たちの活動の社会へのアピール力がまだまだ弱く、寄付を集める努力も不足しているということは、十分自覚してはいるのですが。会員のみなさまには、会費という形で日頃からご協力をいただいておりますので、重ねてのお願いは心苦しい限りなのですが、認定NPOへの寄付は税制上の優遇措置もありますので、我こそはという方、もしくは周囲に寄付をしてくださるような方がもしおられましたら、私たちに一声かけていただければ幸いです。

もっと助成を、もっと寄付を、もっと元気を、ということで、ひとつよろしく。

2011 ふくしま 元気市民活動助成金 寄付金募集

10万円

2011年10月15日(土)～10月23日(日)

寄付金募集

お申し込み先: 福島県福島市東山町1-1-1 福島中央ロータリークラブ 未来づくり市民活動助成金事務局

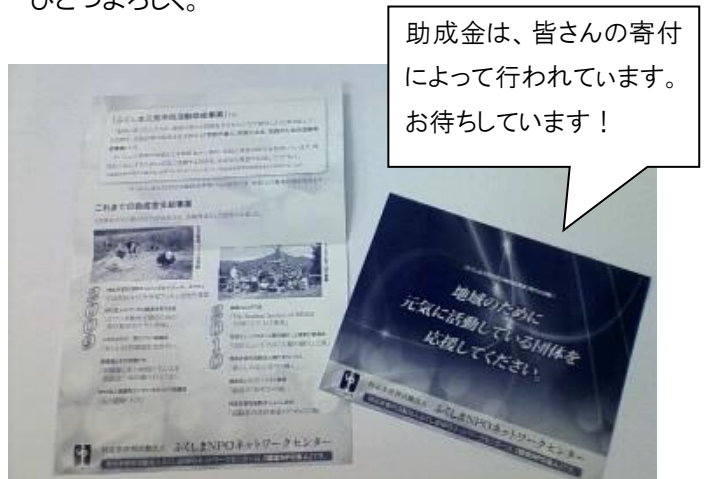
http://www.f-npo.jp

2011年度助成事業の概要

事業名	募集期間	募集額	募集対象
未来づくり市民活動助成金	2011年10月15日～10月23日	10万円	未来づくり市民活動助成金事務局
元気助成金	2011年10月15日～10月23日	10万円	元気助成金事務局
未来づくり助成金	2011年10月15日～10月23日	10万円	未来づくり助成金事務局

募集要項: 申請書の提出、審査、発表会、助成金の支給

お問い合わせ: 024-241-2000



## 平成23年度ふくサポ主催講座始まる



福島市市民活動サポートセンター  
内山 愛美

平成23年度ふくサポ主催講座が9月24日よりスタートしました。この講座は市民活動ステップアップ講座、NPOマネジメント講座、オープンセミナー(講演会)を3本の柱として、NPO法人や市民活動団体の今後の発展に役立ててもらおう目的で毎年開催しています。今年度は「NPOの会計・税務」や「資金開拓術」、「伝承と地域の絆にみる地域づくり」、「ボランティア・子どもの元気の作り方」、「行政との協働で行う災害復興計画」など10のテーマを企画いたしました。実践参加型、講演型、パネルディスカッション型など様々な形で学んでいただけます。いずれも参加無料で、福島市市民活動サポートセンターで開催いたします。11月以降の講座は、まだ定員に余裕がございます。是非、多くの方にご参加いただき、今後の活動にお役立ていただきたいと思っております。

「ボランティア講座・子どもの元気の作り方」  
～ふくしまの楽しい大人たち～

11月12日(土) 13:00～15:00

講師: 福島市市民活動サポートセンター 事務局 星野 珠二

会場: 福島市市民活動サポートセンター

ぜひ、参加して  
ね～!



## 定着してきたボランティア受け入れ事業

～東北ろうきん「NPO パートナーシップ 2011」中間報告～

### ふれ愛の日。

体験型ボランティア[参加者募集]



ボランティア活動体験期間

2011年8月～2011年12月22日

この事業は、東北地方各県の中間支援団体に、ボランティアを受け入れる県内8つの NPO 団体を選定・登録してもらい、登録団体が長短問わずさまざまなボランティアを経験していただく機会を提供するという事業です。東北ろうきんと東北各県の中間支援団体が、文字通り協働してボランティアの受け入れに取り組んでいく事業です。当初はボランティア希望者数が伸びず心配される時期もありましたが、4 年目(2010 年)でようやく6県全体の目標の100名をクリアしました。5年目の今年度は、3.11 の影響もあって、すでに中間集計において昨年同期の実績を上回っている状況にあります。東北各県においてボランティア希望者は確実に増加しつつあることが確認され、事業の手応えが感じられるこの頃です。

(報告:ふくしま NPO ネットワークセンター

理事長 星野 珠二)



## ふくふくプロジェクト情報センター近況報告

事務局長 早川 哲郎

ふくふくプロジェクト情報センターが本格稼働して2か月。毎日新聞に日々ニーズ情報を掲載している効果で「ふくふく」の名は全国版になり、おかげで電話やメールでの問い合わせが後を絶ちません。これまでに400件を超える電話問い合わせに応え、一日で60件の電話があったこともあり、2人体制のセンターでは対応に追われることもしばしばありました。

「ふくふくからの情報を毎日見えていますよ」「今は何が必要なのか教えてください」など、全国からの支援の声を聞く最前線にいて、「福島は置き去りにはされていない」という希望を感じることができます。

支援品に関する情報に追われている現状では、情報センターとして行いたい避難者のニーズ把握や支援団体の活動状況の情報収集ができず、もっと機能を充実させるため人員確保の算段をしているところです。被災者支援活動の後方支援センターとしての実績を積みながら、県北地域の復興に向けてセンターとしての役割を模索していきたいと考えています。

# 「市民団体の財政基盤強化講座&相談」を受託開催

ファンドレイジング担当 半田 節彦

“うつくしま、ふくしま。”県民運動ステップアップ事業の一つ「地域活動団体等の活動基盤支援事業」委託業務の公募審査は、うつくしまNPOネットワーク(郡山市)が最優秀提案者として選考されました。当NPOは、残念ながら次点でしたが、委託業務のうち「地域活動団体等への寄附・融資増進サポート事業」について、当NPOが協働受託者として担当することになりました。この事業は、いわゆる“新しい公共”を創造支援する国家予算を利用した福島県の主催です。9月から半田が、担当者として従事し、全県の市民団体を対象とした講座と相談会の企画を発表して、参加者を募集しています。

3・11の大震災以後、私たちの故郷“うつくしま、ふくしま”は、破壊・混乱・停滞状況に陥り、県民の痛みは計り知れない状況です。一方経験したことのない“広範囲で暖かな支援の輪”が寄せられ、県民の意識も何かが変わりはじめています。地域団体活動は、今までの意識や行動の踏襲だけで再建再生は、もはや新たな発展は難しいでしょう。講座と相談会では、地域団体の困惑や問題意識に具体的に応えられるよう、新しい運営精神や知恵・技術の取得などを提案準備しています。



<企画内容> 各回共通 参加費無料、定員45名、開催時刻13時半～17時

<申し込み先> ふくしまNPOネットワークセンター TEL024-528-1211 FAX024-528-1218

第1弾 『市民活動団体の資金調達力向上(ファンドレイジング)講座&個別相談会』	
講師	田中尚輝(NPO事業サポートセンター顧問)
相談者	田中尚輝&星野珙二(ふくしまNPOネットワークセンター理事長)
内容	会費・寄付・助成金・補助金・預託金など多様な資金調達を紹介し、財政基盤強化につながる認定NPOの普及を支援します。
日時/会場	11月17日(木)郡山市総合福祉センター 11月18日(金)いわき市生涯学習センター 11月19日(土)南相馬市まごころセンター 11月20日(日)会津若松市生涯学習センター

第2弾 『認定NPO法人への挑戦講座と相談会』	
講師&相談者	星野珙二(ふくしまNPOネットワークセンター理事長)
内容	資金調達が展開し易くなる認定NPOの取得と普及を支援する講座と相談会です。
日時/会場	12月3日(土)サンフレッシュ白河 12月11日(日)いわき市労働福祉会館

第3弾 第I部 『NPOへの融資動向と借入金調達の心得』	
講師	佐藤英雄(ふくしまNPOネットワークセンター会員、銀行員)
内容	金融機関との付き合い方と借入金調達の心構え・必須要件を伝授します。
第3弾 第II部 『IT活用による資金調達と地域ニュービジネスの展開』	
講師	藪内利明(株)コンピュータ・システムハウス社長&(株)岩崎徹(株)アイーダ社長
内容	ITを活用した資金など調達法を紹介し、福島から地域ビジネスを新展開する構想力と知恵・技術を引き出すストーリーとステップを模起する。
日時/会場	平成24年1月22日(日)須賀川市中央公民館 平成24年1月29日(日)会津若松市鶴城コミュニティセンター

## ふくしま・ふるさとフルーツ便 ～まちの駅 ふるさと物産市参加報告～



←復興支援ふるさと市場  
新潟県見附市

本年、震災による原発事故で、福島市特産である果樹の販売が大きな打撃を受けました。そんな中、全国にネットワークを持つ「まちの駅」の皆様よりお声がけを頂き、「被災地福島の農産物を応援しよう」という趣旨のもと、「ふくしま・ふるさとフルーツ便」として、各地のまちの駅のイベントへ伺っての直接販売を行いました。これまで、東京都江戸川区、新潟県見附市、富山市、栃木県鹿沼市などへ出向き、採りたての果樹を持ち込んで販売しました。どの地域においても、とても美味しいと好評で買い求め頂きました。場所によっては、2時間で売り切れという所もありました。また、どの地域においても福島市民への励ましの言葉や心遣いを頂きました。果樹の販売と合わせて、温かい心にふれる事が出来たことに感激を覚えました。私達の販売量はごく少量ではありますが、風評被害の払拭に寄与出来たこと、そして各地の方より頂いた、あたたかい心を市民に伝えていきたいと思えます。

(報告:ふくしまNPOネットワークセンター

理事 作田 謙太郎)



## 「FM-POCO 76.2MHz で会いましょう」

～タイムリーな情報を届けています～



毎週金曜日 17時45分はFM76.2MHzの電波に乗せて、FMポコのスタジオより「ふくしま情報ステーションだより」を届けています。地域のイベント情報をはじめ、NPOや市民活動の紹介など新鮮な情報を生放送でお送りしています。ぜひ、チャンネルを76.2MHzに合わせてください。また、皆さまからの情報もお待ちしています！

(ふくしまNPOネットワークセンター 常務理事 齋藤美佐)

## ふくしまチャイルドライン準備委員会から ～福島の子どもたちの心の復興を願って～

23年3月11日、誰もが忘れることが出来ない事が起きました。誰もが経験したことがない「東日本大震災と原発事故!!」

私たちふくしまチャイルドラインの準備委員会にも、チャイルドラインセンターから、温かい励ましの言葉をいただきました。

7月…震災を受けた福島県の子どもたちのため、チャイルドラインセンターの方2名が、子どものためのカード配布の協力依頼で県教育委員会に来庁してくださいました。

9月…県内の学校にカード257,000枚が配布されました。中旬には、郡山市において「こおりやまチャイルドラインを創る会」が中心となり、「チャイルドラインとは？」等の基本的な事について運営研修会が行われました。講師には、広島チャイルドラインの上野様が遠方より来福してくださいました。

9月までに福島県の子どもたちからの電話アクセス件数は約1,500件、そのうち279件が着信されました。カードを配布して下さったことで、福島県の子どもたちの心の復興の第一歩を全国の方々に助けていただいております。

11月26日(土)、27日(日)の両日、『第7回チャイルドライン全国フォーラム in みえ 子ども支援フォーラム』が開催されます。

(報告:ふくしまNPOネットワークセンター

理事 遠藤ヒロ子)



## 編集後記

✉ この度、9月中旬より、事務局に入ることになりました。まだまだ勉強中ですが、一日も早く慣れるよう努めております。大山さんと力を合わせて頑張りますので、みなさん、どうぞよろしくお願いいたします。(事務局・根本 靖子)

✉ 根本さんと一緒に、9月末より事務局に入ることになりました大山と申します。新しいチャレンジの毎日ですが、精一杯頑張りたいと思います。みなさん、どうぞよろしくお願いいたします。(事務局・大山亜紀子)

●福島市より受託、運営している施設

○福島市市民活動サポートセンター(チェンバおおまち3F)

○ふくしま情報ステーション(コラッセふくしま1F)

※詳しくは各HPをご覧ください。

●編集・発行:NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル 8F

TEL 024-528-1211 FAX012-528-1218

E-mail [center@f-npo.jp/](mailto:center@f-npo.jp/) URL <http://www.f-npo.jp/>